



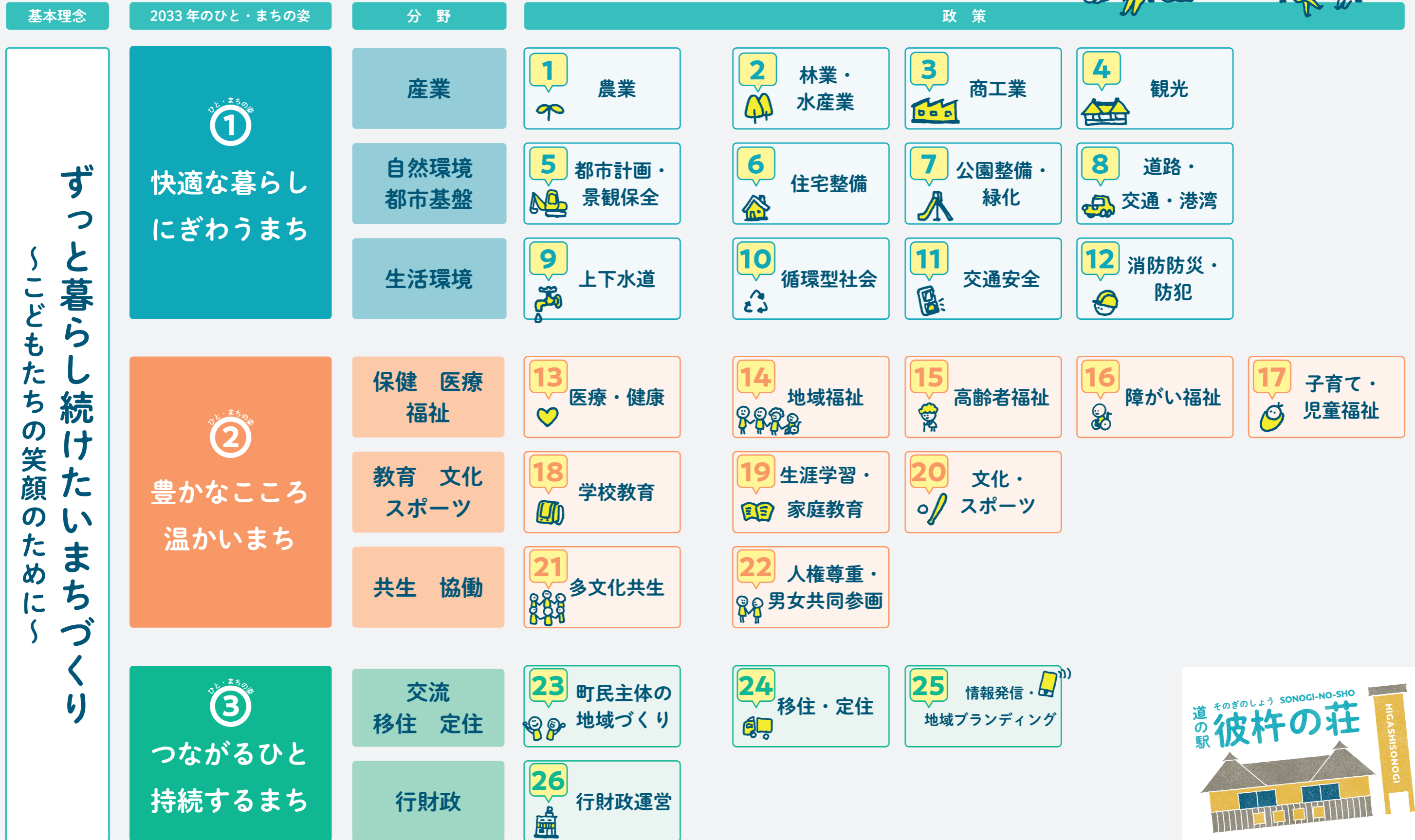
第3章 基本計画

基本構想の実現に向けて、計画期間の前半の5年間での
取り組み内容をまとめています



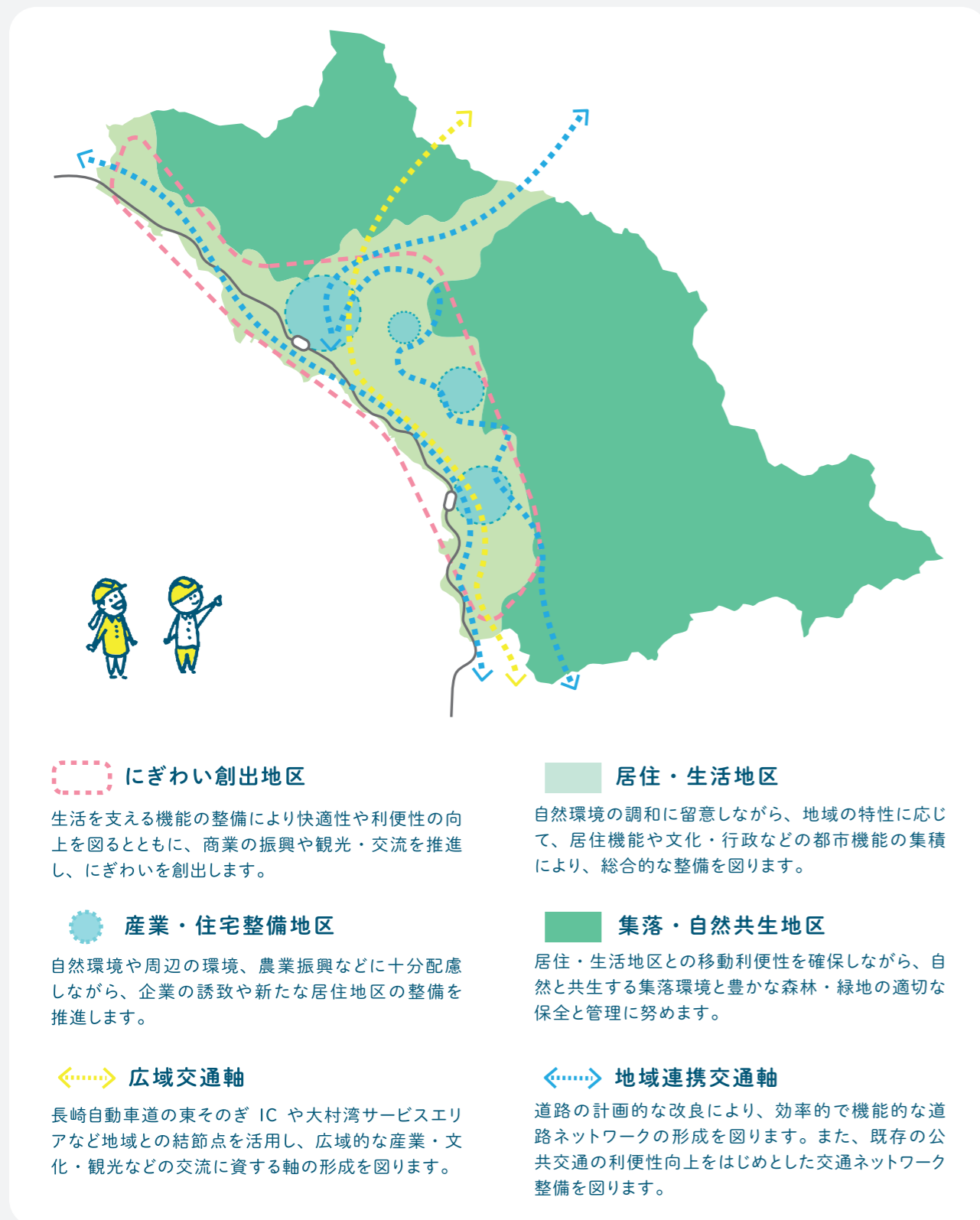
基本計画の体系

基本計画は、基本理念、2033年のひと・まちの姿に基づいて分類を行い取り組みを進めます。



土地利用の見通し

将来にわたって持続可能なまちづくりを見据えて、土地の使い方の方針を以下のとおり設定します。



快適な暮らし にぎわうまち

産業

自然環境 都市基盤

生活環境



政策
1
農業



東彼杵町のいま

- 米や茶、肉用牛、いちごやアスパラガス、みかんやびわなど、町内では様々な農業が営まれています。
- 担い手の高齢化と後継者不足が進んでおり、耕作放棄地も増加しています。
- 道の駅などでは町内で生産された農産物が並び、大きなにぎわいが生まれています。
- そのぎ茶のブランド化をはじめ、農産物を町内外に知ってもらえるような取り組みがはじまっています。

＼めざせ！／

10年後の姿

適切な農地管理のもとで効率的な農業を営むことができ、
自然の恵みを地域の人みんなで分かち合えるまちになっています。

＼成果指標／

新規就農者延べ人数

農地の担い手などへの集積率

24人

45人

39%

50%

令和4(2022)年度

令和15(2033)年度

令和4(2022)年度

令和15(2033)年度



さあ、10年後に向けて取り組もう！

取り組み
1

効率的な農業経営を推進します

行政が取り組むこと

- ▶ 農地や農業に関する情報を提供します。
- ▶ 町内の加工・販売を行う事業所などと連携し、6次産業化を推進します。
- ▶ 農業を営む経営体の実情に応じた柔軟な支援や、低コスト化へ取り組む経営体への支援を充実させます。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- 地域で担い手への農地集約を進めましょう。
- 効率化や低コスト化など、農業に関する様々な情報を集めましょう。

取り組み
2

農地を適切に管理します

行政が取り組むこと

- ▶ 農地の所有者の利用意向や現状を把握し、活用の方針を明確にします。
- ▶ 農業振興地域の見直しや補助制度などの活用を推進し、適切な農地の維持と地域での生産活動の振興を行います。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- 農業のこれからについて、地域で話し合ってみましょう。
- 地域全体で、農地を適切に管理しましょう。

取り組み
3

「農」との新たな関わりをつくります

行政が取り組むこと

- ▶ 商品開発やデジタル技術の導入など、農に関する新たな取り組みを支援します。
- ▶ 交付金や助成制度を活用し農業法人や半農半X、町民農園など、様々な自然と関わる機会づくりの支援を行います。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- 農業への新規参入者を支えましょう。
- 農業体験などのイベントを企画しましょう。
- 自然とともにある暮らしを大切にしましょう。

用語解説

半農半X

生活の半分を農業、もう半分を自分のやりたい仕事などを組み合わせながら生計を立て、生活するライフスタイルのこと。Xは会社員や自営業など、人それぞれのやりたい仕事などが当てはまる。

政策
2
林業・水産業



東彼杵町のいま

- 林業・水産業ともに担い手不足が進んでいます。
- 放置森林が増加しており、適切な管理をしていく必要があります。
- 針広混交林化など、災害に強い山林化に取り組んでいく必要があります。
- 安定した漁場の確保に向けた放流事業や環境保全が必要です。

＼めざせ！／

10年後の姿

木のぬくもりや海の豊かさを感じながら、
持続可能な林業・水産業を営むことができるまちになっています。

＼成果指標／

市町村森林経営管理事業累計施業面積

漁業協同組合員数（正組合員・准組合員合計）

14.7 ha ▶ 90.0 ha
令和4(2022)年度 ▶ 令和15(2033)年度

44人 ▶ 34人
令和4(2022)年度 ▶ 令和15(2033)年度

さあ、10年後に向けて取り組もう！

取り組み
1

森林と施業環境を維持します

行政が取り組むこと

- ▶ 放置竹林や里山整備について考え、取り組む地域活動を支援します。
- ▶ 林業経営体と連携し、山林に関する情報共有や町直営林の集約化を推進します。
- ▶ 森林の多面的機能を維持し、安定した生産性が保てるよう、適切なゾーニングを行います。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- 地域の団体や活動を通じて、里山保全や鳥獣害防止に取り組みましょう。



取り組み
2

森林管理を適切に行い災害に強い山林をつくります

行政が取り組むこと

- ▶ 林業経営体の施業面積拡大や、間伐を計画的に行うため、森林環境譲与税などを有効に活用します。
- ▶ 間伐材や県産材を積極的に活用し、木育事業や公共施設への使用を通じて、森林環境税への理解や啓発を行います。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- 森林環境税について理解を深めましょう。
- 私有林や人工林を適切に管理しましょう。

用語解説

針広混交林

針葉樹と広葉樹がバランスよく混ざった森林のこと。森林を構成する樹木や植物の種類が豊富になることで、樹木の伐採時期がずれるだけでなく、土砂の流出や地力低下の防止にも利点がある。

市町村森林経営管理事業

手入れの行き届いていない森林のうち、林業経営に適さない森林を、管理しやすく健全な状態の森林へとしていくため、市町村が間伐などを行う事業。

林業経営体

自己または他人の保有する森林において、木材などの生産のために、森林の造成や管理などの林業生産活動をしている組織（組合や会社、個人経営など）のこと。

3 豊かな漁場を守ります

行政が取り組むこと

- ▶ 海底耕うんや放流事業への支援など、持続可能な漁場づくりを推進します。
- ▶ 漁業協同組合など、関係団体との連携を強化します。
- ▶ 特産品の開発や地域特性を活かしたブランド化を推進します。

\まちのみんなで行うこと/

- 環境に配慮した漁業活動を行います。



4 林業・漁業の担い手を育成します

行政が取り組むこと

- ▶ 林業・漁業関係者と連携し、担い手確保に向けて広報・啓発を行います。
- ▶ 省エネや効率化を図るための機械などの導入について、支援体制を整備します。

\まちのみんなで行うこと/

- 林業や漁業の恩恵が、身の回りのどこに活かされているのか調べてみましょう。



用語解説

海底耕うん

海底の土をかくはんすること。海底の土や堆積物をかき混ぜ、硬くなった土や泥・砂を掘り起こすことで、土の中の栄養を海に放出し、生き物が生息しやすい環境をつくる。

ひがしそのぎみらい工房

実施レポート その1

第1回テーマ

みんなで作る“まちの通信簿”

これまでのまちの動きを振り返って、よくなったこと、もう少し頑張してほしいことを話しながら“まちの通信簿”をつくりました。

はじめに

みなさんの暮らしを振り返って東彼杵町の「通信簿」をつけてみましょう！



まずは総合計画とはどういうものなのかや、ワークショップの目的などを説明しました。

自己紹介

東彼杵町の“郷”全部かけるかな？意外と「あと1箇所」が出てこない！



グループごと自己紹介をしたら、まちに関するクイズに挑戦！

ワーク開始！



グループに分かれてワーク開始！話し合ったり、マップに書き込んで通信簿作成を進めていきます。





東彼杵町のいま

- 新規店舗数が増加していますが、依然として空き店舗が多くなっています。
- 町内での消費を促進するとともに持続的な事業経営に向けた支援が必要です。
- 町内にある工業団地は企業立地が進み、就業の場となっています。
- さらなる雇用の創出に向けて、新たな企業の誘致に向けた検討が必要です。

＼めざせ！／

10年後の姿

**町内の商工業が地域の経済の基盤となり、
「こんな働き方がしたい！」が叶うまちになっています。**

＼成果指標／

商工会員数

年間新規創業者数

213人 ▶ **240人**

6人 ▶ **8人**

令和4(2022)年度

令和15(2033)年度

令和4(2022)年度

令和15(2033)年度

※平成26年～令和4年の累計値の平均

さあ、10年後に向けて取り組もう！

取り組み

1

将来にわたってにぎわうまちをつくります

行政が取り組むこと

- ▶ 町内の事業者に対し商工会などと連携し、事業者ニーズの把握に取り組みます。
- ▶ 商工会や金融機関と連携し、町内での事業の継続や承継などの相談支援や経営安定化に向けた指導を行います。
- ▶ 地域内の消費喚起に向け、インセンティブの設定について検討します。
- ▶ 商店が集積するエリアを中心に、店舗相互のネットワークづくりによる一体的なPRなどを行います。
- ▶ サテライトオフィスの整備など、柔軟な働き方に対応した環境整備を推進します。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- 町内にあるお店を積極的に利用しましょう。
- 同業種だけでなく、商工・農林など町内の事業者の幅広いつながりを構築しましょう。



取り組み

2

商工業の魅力化と就業支援を進めます

行政が取り組むこと

- ▶ 町内企業従事者や事業者などと町民や有識者を交えた交流会を開催します。
- ▶ 町内企業に就職する町民に、奨学金返済アシスト事業などの支援を検討します。
- ▶ 町内企業に関する情報や町内で働く“人”に着目した情報を発信し、町内の商工業の魅力化に取り組みます。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- 町内にはどんな仕事があるのか、興味を持ちましょう。
- 町内で働く人との交流機会に参加し、理解を深めましょう。
- 商工会などが行う講座に積極的に参加しましょう。

用語解説

インセンティブ

「動機」「刺激」の意味。この項目においては、限られた地域内での経済の活性化を目的として、商品券や決済システムなどにプレミアムを付けたりポイントの還元を行う取り組みのこと。

サテライトオフィス

企業の本社・本拠地から離れた場所に設置する小規模なオフィスのこと。

3 新たな企業の誘致を進めます

行政が取り組むこと

- ▶ 新規工業用地の造成に向けて、町民や地域とともに検討を進めます。
- ▶ 多様な商品を取り扱う商業施設や工業施設の誘致に向けて、県と連携したPRや優良企業に対するアプローチを進めます。
- ▶ 新たな進出企業への支援制度の充実を図ります。

＼まちのみんなで行き組むこと／

- 新たに進出する企業について、行政からの情報を把握しましょう。

4 起業・創業を支援します

行政が取り組むこと

- ▶ 空き店舗の活用に関する支援制度をはじめ、起業・創業のための支援の充実を図ります。
- ▶ 民間事業者と協力し、既存の事業用物件の設備の確認・整備を行いながら、物件を探しやすい環境をつくります。
- ▶ 町内で起業・創業した事業者へのヒアリングを通じて課題や可能性を把握し、「起業しやすい土壌づくり」と「起業しやすいまち」としてのPRを進めます。

＼まちのみんなで行き組むこと／

- 町内で起業・創業した人を応援しましょう。

Sorriso riso HIGASHI SONOGI



東 彼 杵 町 の 誇 れ る も の



※町民アンケートより抜粋

次ページの用語解説

- グリーンツーリズム** 緑豊かな農村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。
- インバウンド** 外国人が訪れる旅行のこと。日本の場合、訪日外国人旅行または訪日旅行という。
- 二次交通** 拠点となる鉄道の駅などから観光地・目的地までの交通のこと。



東彼杵町のいま

- そのぎ茶文化や茶畑の景観を活かした体験型旅行や、グリーンツーリズムの取り組みが生まれ、東彼杵町ならではの観光資源となっています。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、全国的に縮小傾向だった観光業も、全国旅行支援やインバウンド需要の高まりなどにより回復が見られます。

＼めざせ！／

10年後の姿

東彼杵町らしさを活かしたおもてなしやまちづくりへの参加型の観光体験を通じて、心の満足感を提供できるまちになっています。

＼成果指標／

道の駅彼杵の荘 レジ通過者数



さあ、10年後に向けて取り組もう！

取り組み 1

“おもてなしのまち”をまち全体でつくります

行政が取り組むこと

- ▶ 地域の資源を来訪者に伝えることができるよう、まちの魅力を町民に向けて発信し、おもてなしの機運を高めます。
- ▶ 地域の資源や町内での消費・購買を含めた「楽しみ方メニュー」を構築します。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- 地域の魅力について、周りの人に伝えたり、発信してみましょう。
- 身近な地域資源を活かして、人が行き交う活気あるまちをつくりましょう。

取り組み 2

東彼杵町らしさを強みにした観光の取り組みを進めます

行政が取り組むこと

- ▶ 事業所や地域の希望に合わせて、そのぎ茶についてレクチャーを行う講師を派遣します。
- ▶ お茶を活用した観光振興を進める自治体の事例を収集し、新たな事業について検討します。
- ▶ 持続可能なイベントを町民や地域と連携しながら企画・運営し、幅広い世代の人が町内へ訪れる目的づくりを推進します。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- そのぎ茶をはじめ東彼杵町の特産品を積極的にPRしましょう。
- 訪れた人だけでなく、地域で暮らす人や自分自身も楽しいと思えるコンテンツをつくりましょう。

取り組み 3

観光客を受け入れる体制を整えます

行政が取り組むこと

- ▶ 既存の施設だけでなく、空き店舗などを活用した交流の場づくりを進めます。
- ▶ 公共交通やタクシー、自転車などの二次交通網を強化し、町内周遊を促します。
- ▶ 案内表示の多言語化など、インバウンドにも対応できる環境整備を進めます。

＼まちのみんなで取り組むこと／

- 地域の清掃活動や美化活動に参加し、美しい環境を保ちましょう。